

2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月6日

上場会社名 株式会社きょくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL <http://www.cl-kyokuto.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 牧平 年廣
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 丸林 凡和（TEL）092-503-0050
 半期報告書提出予定日 2025年10月15日 配当支払開始予定日 2025年11月11日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	3,130	△1.7	309	△17.5	355	△15.4	245	△16.1
2025年2月期中間期	3,182	11.2	374	12.5	419	12.7	292	27.7
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年2月期中間期	46.66		—					
2025年2月期中間期	55.63		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年2月期中間期	4,694		2,467		52.6	
2025年2月期	4,396		2,141		48.7	

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 2,467百万円 2025年2月期 2,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2026年2月期	—	5.50			
2026年2月期（予想）			—	5.50	11.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	2.2	200	108.2	300	64.7	200	140.8	38.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期中間期	5,551,230株	2025年2月期	5,551,230株
2026年2月期中間期	290,114株	2025年2月期	290,114株
2026年2月期中間期	5,261,116株	2025年2月期中間期	5,261,134株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、通商政策等の日米間の交渉が合意に至るなど前向きな動きがみられたものの、海外経済は減速が予想され、ウクライナや中東等を巡る地政学的な要因により資源・穀物価格が上昇するリスクがあり、国内経済は先行き不透明な状況にあります。また、個人消費は、物価上昇による先行きへの不安から家計の生活防衛意識が強まり、節約を意識した消費行動が増えております。

当社におきましては、春の衣替えの時期に気温の上昇が遅く肌寒い日が多かったことから冬物衣料のお預かり点数が減少し、夏季においては、猛暑の影響で来店客数が伸び悩むなど厳しい経営環境で推移しました。

このような経営環境の中、当社は、新しい商品の取り扱い開始や新規出店と店舗リニューアルを含めた設備投資、シーズンに合わせた販促活動など積極的に実施しました。

新しい商品として「羽毛布団リフォーム」の取り扱いを2025年5月1日から開始しました。これは、羽毛布団の中の羽毛を直接洗浄で綺麗にし、羽毛の追加でボリュームアップするとともに、生地を取り替えて新品のような状態になり、見た目の清潔さはもちろん、中もふんわりふわふわに仕上がります。お客様の大切な羽毛布団を低コストでリフォームでき、資源のリサイクル、環境保全に繋がる新しいサービスです。今後、販売強化に努めてまいります。

設備投資は、営業基盤の強化を目的に2025年5月1日付で事業の一部譲受けを行い、福岡県久留米市に4店舗を新たに取得しました。加えて、既存店舗のリニューアルを11店舗実施しました。当中間会計期間末の店舗数は484店舗となりました。

販促活動は、春の衣替えシーズンに合わせた生活応援セール「クリーニング福袋詰め放題」サービスや地域毎にイベントを企画し実施するなど販売強化に努めました。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高は3,130,151千円と前中間会計期間と比べ52,689千円(1.7%)の減収となりました。

利益につきましては、販売費及び一般管理費において人件費やPOSレジ費用等が増加したことから、営業利益は309,388千円と前中間会計期間と比べ65,603千円(17.5%)の減益、経常利益は355,439千円と前中間会計期間と比べ64,489千円(15.4%)の減益、中間純利益は245,535千円と前中間会計期間と比べ47,157千円(16.1%)の減益となりました。

なお、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣替えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は3月から5月に偏る傾向があり、業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて210,821千円増加し、919,163千円となりました。これは、現金及び預金が増加したことなどによりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて86,735千円増加し、3,775,305千円となりました。これは、投資有価証券が増加したことなどによりです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて297,556千円増加し、4,694,469千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて82,074千円増加し、1,124,834千円となりました。これは、未払法人税等が増加したことなどによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて111,187千円減少し、1,101,920千円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによりです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて29,113千円減少し、2,226,755千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて326,670千円増加し、2,467,713千円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによりです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ161,279千円(38.9%)増加し、当中間会計期間末には575,814千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動の結果得られた資金は、330,541千円(前中間会計期間比36.3%減)となりました。

収入の主な内訳は、税引前中間純利益355,137千円、減価償却費50,041千円などであり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額43,836千円、売上債権の増加額38,673千円などがあります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動の結果使用した資金は、4,556千円(前中間会計期間比96.6%減)となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入60,000千円などであり、支出の主な内訳は、定期性預金の預入による支出30,000千円、有形固定資産の取得による支出26,944千円などがあります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動の結果使用した資金は、164,705千円(前中間会計期間比314.4%増)となりました。

支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出120,735千円、配当金の支払額28,973千円などがあります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期通期の業績予想につきましては、現時点において、2025年4月15日に発表した業績予想と同じであり、変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	469,534	600,814
売掛金	93,030	131,704
商品	18,231	24,069
原材料及び貯蔵品	27,033	29,875
前払費用	65,538	63,953
その他	38,699	71,199
貸倒引当金	△3,725	△2,452
流動資産合計	708,342	919,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	232,621	226,075
土地	1,645,856	1,645,856
その他(純額)	59,769	66,153
有形固定資産合計	1,938,248	1,938,086
無形固定資産		
のれん	44,473	45,483
その他	146,890	132,297
無形固定資産合計	191,364	177,781
投資その他の資産		
投資有価証券	624,703	759,880
差入保証金	440,367	439,073
その他	503,715	469,371
貸倒引当金	△9,829	△8,889
投資その他の資産合計	1,558,957	1,659,437
固定資産合計	3,688,569	3,775,305
資産合計	4,396,912	4,694,469
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,114	21,202
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	262,737	247,764
未払金	282,585	307,933
未払法人税等	60,611	125,396
賞与引当金	23,113	14,391
資産除去債務	286	2,378
その他	186,311	205,767
流動負債合計	1,042,760	1,124,834
固定負債		
長期借入金	648,597	542,835
退職給付引当金	179,471	184,788
役員退職慰労引当金	123,878	126,654
資産除去債務	109,025	107,100
その他	152,135	140,543
固定負債合計	1,213,108	1,101,920
負債合計	2,255,869	2,226,755

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当中間会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	1,014,924	1,231,523
自己株式	△166,971	△166,971
株主資本合計	1,799,018	2,015,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	342,024	452,095
評価・換算差額等合計	342,024	452,095
純資産合計	2,141,043	2,467,713
負債純資産合計	4,396,912	4,694,469

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	3,182,840	3,130,151
売上原価	820,030	811,728
売上総利益	2,362,810	2,318,422
販売費及び一般管理費	1,987,818	2,009,034
営業利益	374,991	309,388
営業外収益		
受取利息	34	341
受取配当金	5,984	8,084
受取家賃	26,038	33,120
その他	18,306	13,631
営業外収益合計	50,363	55,178
営業外費用		
支払利息	4,896	6,469
減価償却費	437	2,625
その他	92	31
営業外費用合計	5,426	9,127
経常利益	419,928	355,439
特別利益		
投資有価証券売却益	2,177	—
特別利益合計	2,177	—
特別損失		
固定資産除却損	1,013	301
特別損失合計	1,013	301
税引前中間純利益	421,092	355,137
法人税等	128,399	109,601
中間純利益	292,693	245,535

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	421,092	355,137
減価償却費	43,705	50,041
のれん償却額	6,317	6,840
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,084	△2,212
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,590	5,317
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,349	2,775
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,946	△8,722
受取利息及び受取配当金	△6,018	△8,426
支払利息	4,896	6,469
売上債権の増減額(△は増加)	△4,971	△38,673
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,879	△8,680
仕入債務の増減額(△は減少)	△148	△5,912
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,177	—
固定資産除却損	1,013	301
未払金の増減額(△は減少)	21,267	25,263
その他の資産の増減額(△は増加)	△19,009	△25,373
その他の負債の増減額(△は減少)	61,145	17,297
小計	535,034	371,444
利息及び配当金の受取額	6,018	8,426
利息の支払額	△3,765	△5,493
法人税等の支払額	△18,393	△43,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	518,894	330,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△30,000	△30,000
定期性預金の払戻による収入	60,000	60,000
事業譲受による支出	—	△10,936
有形固定資産の取得による支出	△35,252	△26,944
投資有価証券の売却による収入	3,155	—
無形固定資産の取得による支出	△3,267	—
投資不動産の取得による支出	△126,314	—
差入保証金の差入による支出	△6,216	△379
差入保証金の回収による収入	2,672	3,703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,223	△4,556
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△143,854	△120,735
配当金の支払額	△28,897	△28,973
短期借入金の純増減額(△は減少)	△60,000	—
自己株式の取得による支出	△12	—
リース債務の返済による支出	△6,977	△14,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,742	△164,705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	343,928	161,279
現金及び現金同等物の期首残高	360,079	414,534
現金及び現金同等物の中間期末残高	704,007	575,814

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。